

令和 7 年 8 月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第 16 条及び第 17 条の規定により作成)

- 1 日 時 令和 7 年 8 月 19 日 (火) 午前 9 時 白石町役場 3 階 (大会議室)
- 2 出席委員 下平教育長 堤委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 久原学校教育課長 鶴田主任指導主事 永石新しい学校づくり課長
矢川生涯学習課長 吉原学校教育課長補佐
川畑新しい学校づくり課長補佐 伊東生涯学習課長補佐
古川教育総務係長 今福学校教育係長 山口学校給食係長
本山推進係長 定松施設係長 吉田生涯スポーツ係長
川崎福富公民館係長 川崎有明公民館係長 武富指導主事 溝口主任
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案
附議 23 号 白石小学校教務主任の任命について
附議 24 号 9 月補正予算について
附議 25 号 令和 7 年度準要保護の認定について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 附議第 23 号から附議第 25 号すべて議決
- 9 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 なし

1 開会（久原学校教育課長）

久原課長より定例会の開会が宣言され、欠席者の説明がなされた。
前回（7月）の議事録が承認された。

2 教育長報告（下平教育長）

（1）前回以降の主な動向

7/27(日)「佐賀県さわやかスポレク祭（ボッチャ競技）」

白石町アダプテッドスポーツ部が3チーム参加し、1位と3位という素晴らしい成績を収めた。中学生・地域の方がチームを作りながらの参加ということで、それこそ世代間交流と新しい中学校の部活動の様子という姿を示しながらの大きな提案になる参加だった。

7/29(火)「全国、九州中学校総合体育大会出場者激励会」

役場で行い、約20名の選手が出席。

「第13回部活動検討委員会」

今までの中学校部活の内容から地域スポーツクラブの育成と組織をどう進めていくかを話し合った。

7/30(水)「白石町就学相談会（7/30～8/1）」

子どもの特性が多様化する中で、より良い個々に応じた指導につながっていくのではないかな。

7/31（木）～8/3（日）「JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH 2025 SAGA」

役員として参加し、無事に大会が終わった。白石から子どもたち5人もリーダーとして参加。

8/5(火)「『チーム担任制』に係る講演会・視察研修」

今年度の重要な施策となるチーム担任制なので、小中学校のみならず、全庁的に広げて検討して欲しい。

（2）概要の報告（下平教育長）

- ・【出前講座】「老いを楽しく豊かに」 講師…岡 社会教育指導員

各地区の公民館に出向き、特に高齢者向けに講座をしていただき、大変人気。

- ・ジュニアユース地域クラブ等の統合再編

部活動の改革から地域のスポーツクラブとしての部活動の受け入れとなる活動をしていかなければならない。地域スポーツクラブとして取りまとめて、子どもたちが持続可能な活動の機会を確保していく。そのために大きな組織が必要。

4、連絡事項

(1) 問題行動・不登校の状況（武富指導主事）

- ・不登校傾向：小学校21名、中学校34名。
- ・いじめ：小学校で覚知51件、認知51件、中学校で覚知5件、認知2件。

(2) 全国学習状況調査の結果について（鶴田主任指導主事）

- ・小学校は、どの教科も県平均より上回っているが、国語が全国平均より若干低い。
- ・中学校は、だいぶ持ち直している。県と同等、全国よりやや低い。無答率が昨年に比べかなり低くなっており、記述問題についても何かしら書こうとしているところで問題に取り組む姿勢が改善されたと思う。

【主な発言】

一ノ瀬委員 聞いた話のメモを取る、理由をつけて説明する、資料を読む等はずっと昔から弱かった。学校訪問等に行くとそれらを解決できるような授業が増えており、努力されていると感じるが、そこが弱いからこそ、そこを何とかしようとするのがもう少し必要かと思う。無答率が減ったということは、その取り組み姿勢が変わったということで、先生方の取り組み姿勢も変わっただろうし、子どもたちもそれによって変化してよい傾向にあると思う。

(3) 県テストの結果について（鶴田主任指導主事）

- ・小学校国語、県より上回っており、全国と同程度。算数は、全国と同程度で県よりもかなり上回っている。
- ・中学校になると無答率が若干高くなっている。記述式になると無答率が高くなる教科もある。国語は、書くこと・読むことが低い。数学は、県よりも低い。全国よりもさらに低い。英語は、県よりも高く、全国より低い。書く領域が高い。授業でやっていないとできないため、1年生の段階で力を入れていると思われる。

【主な発言】

川崎委員 学年を通じて焦りを感じられない。度数分布表をもらっていないので、実際自分がどの辺にいるのかわかっていない。平均で出しているから、こんなもので留まってしまう。そこで安心してはいけない。全体で取り組んでいかないと持ち上がっていかない。もう少し頑張っていけるように取り組む必要があるのではないか。

(4) 部活動地域展開について（本山推進係長）

令和4年度より部活動検討委員会等で議論を重ねてきているところ。教職員は異動もあり、理解されていない部分もあるということで7月30日に教職員を対象に説明会を開

催。ほとんどの先生が出席。

休日実施の部活動は、令和 8 年度までに全種目、地域展開。地域展開できない場合、平日のみの活動になる。

練習について休日は完全に地域移行・地域展開するが、試合についてどうするのか、中体連においてもなかなか決定されておらず検討をされているところで、今後どうなるかわからない部分が多々ある。部活の単位で登録して試合に出る場合は、学校管理下での活動となるので、土日であっても先生方に来てもらうという形になる。しかし、もしチームクラブ単位での登録出場となったら、学校管理外ということになるということで先生は参加する必要はない。吹奏楽部については、指導者の問題、練習場所、楽器の移動、本当に大きな問題でなかなか厳しい状況。今後、各種目の様子を見ながら、(部活の) 検討委員会で詳しく議論というところ。

白石ジュニアユースアクティブクラブ (ジャンクス) については、今年度立ち上げて、来年度 8 月以降、中体連以降に本格的に始動していくというような形。

会費は、国からも目安を出すということだがまだ出ていない。指導者謝金も含め、今後財源確保が一番大きな課題になると思われる。

【主な発言】

堤委員 吹奏楽の問題も全国共通でもう国も把握されている問題。全国的な流れに従っていけばいいと思う。大会・コンクールとかも含めて、そもそも大会のあり方を見直すというゴールが出ているけれど、それが進んでいないというだけのことなので、ここもいずれどうにかなると思う。

(5) 町民スポーツ大会の開催について (吉田生涯スポーツ係長)

町民スポーツ大会については、これまで台風、大雨、コロナ禍、国スポ開催等により 8 年ぶりの開催。白石地域がこれまで小学校区 4 会場開催だったが、今年から白石地域全体で 1 ヶ所での開催。終了時間については、午前中 (12 時半ぐらい) までに終了するように変更。白石地域の会場においては、これまでの運動会的なプログラムと大きく変わり公民館交流大会を始め、ニュースポーツも常設するなど、令和 4 年度に実施したスポーツフェスタに近い内容での開催となる。

中学生には、各地域の大会当日のスタッフとして協力をいただきたい。

(6) 9 月の行事予定 (古川教育総務係長)

9 月の教育長に関連する行事予定を案内。

(7) その他

・ 8 月 1 日付人事異動について (下平教育長)

- ・福富公民館より 8 月 25 日（月）開催される第 52 回福富地域子ども浮立大会の案内。
（川崎福富公民館係長）

【主な発言】

堤委員 今後、例えば災害時の対応等、スクールバスが運用される場合の一定の判断基準を作っておいた方がいいのでは。

川崎委員 安心院民泊体験では、災害時等の連絡経路や体調不良時に子どもたちが誰かにアクセスできる状況にあったのか、その辺も改善できればよい。

矢川生涯学習課長

組織の中で連絡体制は整っていたものと思うが、今後企画をされているところに確認を取っていきたいと思う。

一ノ瀬委員 猛暑が続いており、もうすぐ学校が始まるが、1 学期の末頃に日傘をさして登校している子がちらほら見受けられるようになった。学校も少し指導されたということも聞いた。日傘は効果があるので、日傘や体を冷却するアイテム等も持ってきてよいと指導・声掛けしても良いのではないか。

（8）次回教育委員会の日程（久原学校教育課長）

次回教育委員会は、9 月 22 日（月）午前 9 時から 3 階大会議室で開催。

5、議事

附議 23 号 白石小学校教務主任の任命について

吉原学校教育課長補佐 資料で説明。新教務主任を田代先生にお願いしたい。期間は令和 7 年 7 月 7 日～令和 8 年 3 月 31 日。

委員全員承認（附議第 23 号）

附議 24 号 9 月補正予算について

本山推進係長 債務負担行為について白石町スクールバス運行委託事業、有明小学校 6 台（マイクロバス 3 台、ハイエース 3 台）で令和 11 年度までで 1 億 6 千万円。

定松施設係長 資料にて詳細説明。白石中学校の工事施工による被害の申し出があった物件について、調査を行い補償額が確定したため 146 万 8 千円の補正が必要となった。また、新設小学校の地盤改良の範囲が決定した

ことから専門的な知識が求められる積算業務を委託する費用が 250 万円、電柱が支障となるためその移転補償が 20 万円の補正が必要。新有明小学校について、町内企業からの指定寄付を活用し、体育館ステージ緞帳購入費として 180 万円補正する。

川崎有明公民館係長

資料にて詳細説明。閉館となった有明公民館の解体を行う際に必要なアスベスト調査を行うため、312 万円の補正が必要。

委員全員すべて承認（附議第 2 4 号）

附議 2 5 号 令和 7 年度準要保護の認定について

下平教育長 白石町教育委員会会議規則第 15 条による秘密会議宣言。

溝口主任 資料により詳細説明（3 件）

厳正なる審査の結果、3 件とも認定。

委員全員承認（附議第 2 5 号）

6 閉会